

コンクリート改質剤 アルカリ付与・下地強化剤

# エレホン アルカードKL

エレホン・アルカードKLは、中性化の進んだコンクリートに含浸させてアルカリを付与し、鉄筋の錆進行を抑止すると共に、劣化したコンクリートの表面強度を向上させ、補修モルタルとコンクリート界面からの剥離を防止します。

## 特長

- ▶ 強アルカリであるリチウムが、中性化したコンクリート内部まで浸透し、アルカリを付与します。
- ▶ 低粘度珪酸リチウム水溶液であるため、浸透性に優れています。
- ▶ コンクリート中の気孔や毛細管に浸透したアルカードKLが反応硬化し、結合材として作用するため、コンクリート表面付近の強度を向上させます。

## 用途

- コンクリートが中性化し、鉄筋の腐食進行が想定される場合のアルカリ付与剤として
- コンクリートが劣化し、断面修復材を充填するときに、強度不足により接着が期待できない時

## 荷姿



20kg缶



4kgポリ容器

## 施工要領

### ① 下地処理

著しい劣化部、浮き部、浸透を妨げるコンクリート表面の付着物を除去する。除去後はコンクリートを**乾燥状態**にする。

### ② 塗布

標準塗布量(g/m <sup>2</sup> )	300
--------------------------	-----

ハケまたはローラーで、規定量をむらなく塗布する。塗布は2回塗りとし、2回目は1回目の液の浸透を確認後、連続して行う。断面修復を行う場合、**液が浸透せず流れ落ちるようになった時は、接着不良を生じる可能性があるため、塗布を中止する。**

※アルカードKLを塗布後、コンクリート表面に固化層や白い粉化を生じた場合は、上塗材の接着不良を生じることがあります。

また、既に浸透性防錆剤、エポキシ系下地強化剤等の浸透性物質が塗られている場合は、アルカードKLが浸透することを確認して下さい。浸透しない場合は表面で固化し、接着不良の原因になることがあります。

また珪酸リチウムは、コンクリートに残存する酸の種類によっては白華することがあります。この場合は使用できません。

事前に試験塗りをを行い、確認してからご使用下さい。

### ③ 養生

塗布後20～24時間以上養生する。

●性状

試験項目	試験結果	規格値	試験方法
外観	透明	透明	目視
粘度 (mPa·s)	2.3	10以下	JIS K 6833
比重	1.10	1.08~ 1.12	JIS K 0061
P H	11.1	10.5 ~ 11.5	JIS Z 8802

●引張試験結果

〈試験方法〉

劣化コンクリートの表面をタワシを用いて洗浄し乾燥後、アルカードKLを300g/m<sup>2</sup>塗布含浸させ、3日後、無塗布部位との引張強度比較を建研式接着試験により行った。

	1	2	3	平均
アルカードKL含浸	1.6	1.9	1.8	1.8
無塗布	0.9	0.8	0.9	0.9

(N/mm<sup>2</sup>)

●圧縮試験結果

〈試験方法〉

S/C=4の低強度モルタルを用い40×40×40mmの圧縮強度測定用試験体を作製し、1日気中養生後60℃で24時間強制乾燥した。冷却後、試験体をアルカードKL中に1日浸漬、含浸処理し、3日後、未処理試験体との圧縮強度比較を行った。

	1	2	3	平均
アルカードKL含浸	15.6	14.4	12.5	14.2
無塗布	7.5	8.1	9.4	8.3

(N/mm<sup>2</sup>)

●使用上の注意

- ・ご使用に際してはMSDS(製品安全データシート)をよく読んで下さい。
- ・取り扱い時は、ゴム手袋、保護眼鏡、長袖シャツ、マスク等を着用し、眼や皮膚に付着しないように注意して下さい。
- ・凍結しないように0℃以上で保管して下さい。
- ・本製品は空気中の二酸化炭素と反応しゲル化することがありますので、使用後は密栓し早めに使い切して下さい。ゲル化したものは使えません。
- ・フェノールフタレイン指示薬にて塗布後の効果を確認する場合、指示薬はフェノールフタレイン濃度10g/l、エタノール濃度85vol%のものをご使用下さい。また降雨等のない塗布後24時間以内に確認を行って下さい。
- ・廃棄する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して下さい。河川や湖沼、下水等へ廃棄しないで下さい。

●本資料について

- ・本資料の技術情報は、当社の試験・研究に基づいたもので、信頼しうる情報と考えられます。しかし、記載の諸性能および特性などは、施工条件などにより本資料と異なる結果を生じることがあります。
- ・本資料の記載事項は予告なしに変更する場合がありますので、予めご了承下さい。

代理店



特殊セメントの分野を大きくリードする

**エレホン・化成工業株式会社**  
EREWHON

<http://www.erewhon.co.jp/>

- 本社・工場 〒870-0141 大分県大分市三川新町1-2-23 TEL (097) 552-2251 FAX (097) 552-2213
- いわき工場 〒979-3112 福島県いわき市小川町上平字中平30-3 TEL (0246) 83-2600 FAX (0246) 83-2677
- 大阪支店 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町2-12-50 TEL (06) 6388-6585 FAX (06) 6388-6561
- 福岡支店 〒814-0151 福岡県福岡市城南区堤1-9-10 TEL (092) 874-6990 FAX (092) 862-6398
- 関東・東支店 〒340-0055 埼玉県草加市清門町2-4-8-3 TEL (048) 951-1987 FAX (048) 951-1988
- 仙台支店 〒984-0012 宮城県仙台市若林区六丁の目中町6-2 TEL (022) 287-7221 FAX (022) 287-7222
- 名古屋支店 〒463-0048 愛知県名古屋守山区小幡南3-5-21 TEL (052) 758-1889 FAX (052) 758-1890
- 札幌営業所 〒007-0805 北海道札幌市東区東苗穂5条3-2-32 TEL (011) 786-6051 FAX (011) 786-6052
- 盛岡営業所 〒020-0838 岩手県盛岡市津志田中央3-6-11 TEL (019) 681-9531 FAX (019) 681-9532
- 新潟営業所 〒950-0925 新潟県新潟市中央区弁天橋通3-1-31 TEL (025) 286-6260 FAX (025) 286-6263
- 関東・北営業所 〒320-0056 栃木県宇都宮市戸祭2-5-5 TEL (028) 680-6313 FAX (028) 680-6323
- 関東・西営業所 〒224-0064 神奈川県横浜市都筑区平台19-24 TEL (045) 306-6200 FAX (045) 949-2015
- 北陸営業所 〒920-0027 石川県金沢市駅西新町2-11-25 TEL (076) 204-9417 FAX (076) 204-9418
- 神戸営業所 〒652-0032 兵庫県神戸市兵庫区荒田町3-75-1 TEL (078) 599-6630 FAX (078) 599-6631
- 広島営業所 〒739-1731 広島県広島市安佐北区落合2-41-22 TEL (082) 841-2350 FAX (082) 841-2360
- 北九州営業所 〒807-0801 福岡県北九州市八幡西区本城1-19-1 TEL (093) 616-8470 FAX (093) 616-8471
- 熊本営業所 〒861-8045 熊本県熊本市東区小山2-14-47 TEL 050-3399-7419 FAX (096) 388-6227
- 鹿児島営業所 〒890-0082 鹿児島県鹿児島市紫原1-5-1-25 TEL (099) 284-0533 FAX (099) 284-0535
- ㈱エレホン・技研本社 〒781-0270 高知県高知市長浜1-9-3 TEL (088) 805-2332 FAX (088) 841-2322
- ㈱エレホン・技研松山営業所 〒791-8042 愛媛県松山市南吉田町1408-1 TEL (089) 974-8225 FAX (089) 974-8230